令和5年11月5日（日）樹木診断会　報告

場所：みつわ台３－１３団地

住所：千葉市若葉区みつわ台３－１３　　５階建て13棟 築47年（築年月：1977年２月）　310戸

樹木診断の希望内容

1. 高木の剪定費用などがかかり、一部は伐採も検討している。敷地の樹木の状況を診ていただきアドバイスをいただきたい。

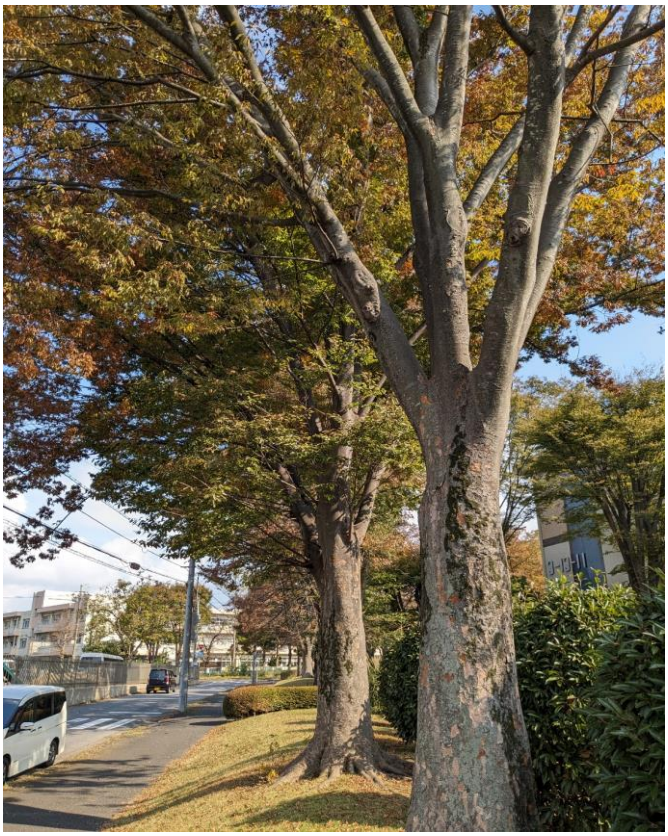
2. 活動状況として
- 毎月、緑化委員会を開催しており、樹木台帳も作成、過去の伐採記録も残している。→
- 高木１本伐採にも高額な費用がかかるとのこと。
- 中長期的観点で対応を検討しているとのこと。

樹木診断の流れ：

９：４５集会所で緑化委員長から高木の状況や樹木診断依頼の趣旨説明やあり、樹木医大矢先生の挨拶後に、
実際に敷地内をまわり、都度アドバイスをいただき、集会所に戻り意見交換し１１：４５に終了した。
意見交換で、ケヤキの原木は購入するところもあり、高所作業車が入らないところでも作業できる業者もいるので
当協議会としても事例となることから業者への問合せや相見積もりなどのお手伝いをさせていただくこととした。
参加者は、当団地の緑化委員６名、当協議会役員１名と先生で計８名。

樹木診断会の様子

具体的な状況とアドバイス等



歩道や電線にかかるように伸びた枝があり、枝が落ちたら大変なことになるので対応を苦慮している。

クレーン車を利用しないと処理できないと言われている高木もあり、電線の近くの枝の剪定は業者さんも断るケースがあるとのこと。
高木・巨木・困難な場所での伐採も請け負う業者もあることから、問合せしてみることとする。

↓

ご参考：みつわ台3-13-業者現地調査(PDF:698KB) 2023年11月29日

↑
東電カット
（電線にかからないようにカットはされるが。。）

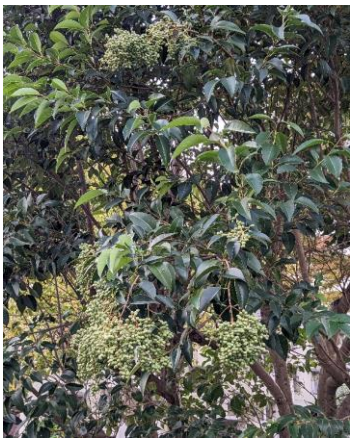
↑
押してグラグラする木は、伐採した方がよい。

↑
強剪定で光合成に必要な葉が茂らず枯れたとの見解

↑
梢端（しょうたん）枯れ
（梢端を枯らすのはケヤキ自身が生き残る為のリストラ活動とのこと）

↑
幹が割れている木もある。

肥大樹の抑制には（側枝を残して亜主枝を切る）や（亜主枝を残して主枝を切る）など「強きを挫き、弱きを扶ける」といった手法が一般的であるが伐採ということもあるとのこと。



←トウネズミモチの実
野鳥が実を食べ拡散するので
切除するようにとのこと。

マテバシイ　　→
一部、カイガラムシ
がついているのが
見受けられた。